



GREEN

INSTITUTE FOR GEO-RESOURCES AND ENVIRONMENT

第10回 地圏資源環境研究部門 成果報告会

日時：平成23年12月13日(火) 14:00-18:10 (開場13:30)

場所：(独)産業技術総合研究所
臨海副都心センター (別館11F 会議室)

テーマ：震災と地圏システム

プログラム

14:00-14:20	地圏資源環境研究部門の活動	研究部門長 矢野雄策
14:20-15:00	招待講演 「北上山地と仙台平野の地質環境と津波堆積物」	東北大学大学院環境科学研究科 教授 土屋範芳
15:00-15:30	土壌汚染の評価手法と浄化技術の開発 -震災復興支援に向けた取り組み-	副研究部門長 駒井 武
15:30-16:00	福島県いわき市の大地震被災地における物理探査法調査	主幹研究員 内田利弘
16:00-16:40	ポスターセッション	
16:40-17:10	復興に向けた広域地下水流動解析 -地下水資源の質・量についての可視化-	地下水研究グループ長 丸井敦尚
17:10-17:40	液状化問題への物理探査技術の活用と取り組み	物理探査研究グループ 神宮司元治
17:40-18:10	持続可能な地中熱利用を目指して -地中熱のポテンシャル評価手法の開発-	地下水研究グループ 内田洋平
18:15-20:00	懇親会	

ポスターセッション題目

- | | |
|--------------------------------------|--|
| つくば市内での石造文化財の被災事例 -2011.3.11 東日本大震災- | 排ガスからの二酸化炭素回収を利用した農業分野への検討(2) |
| 2 福島第一原子力発電所の半径 30km 圏周辺における広域地下水流動 | くりこみを用いた多孔質岩石の空隙スケール画像のフォーメーションファクターの計算 |
| 3 地中熱ポテンシャル評価手法の開発 | 高温油層への CO ₂ の注入が常在微生物のメタン生成活動に与える影響 |
| 震災復興に向けた地下水利用 | 発光細菌を用いたバイオアッセイによる土壌汚染評価手法の開発 |
| 東京湾埋立地における長期観測により認められた地下温度の上昇 | -土壌溶出成分の影響- |
| 近年の中央アジア地域における金鉱床の開発について | 微生物によるクロロエチレン類汚染浄化の分類と制限要因 |
| 佐渡南西沖上越海盆西部における熱流量測定 | 難透水層を含む VOCs 汚染地盤における <i>Dehalococcoides</i> 属細菌の生息判別指標の検討 |
| 熊野トラフにおける鮮新世以降の構造変形とそれに伴う諸現象 | 20 放射性物質によるヒトへの被ばく評価 |
| シェールガス鉱床の地化学的条件と我が国でのシェールガス鉱床の可能性 | 21 CO ₂ 地中貯留のリスクアセスメントシステム GERAS-CO ₂ GS |
| 10 Cs 吸着能を持つ非晶質アルミニウムケイ酸塩の合成とその吸着特性 | 22 放射性セシウムの土壌中での挙動評価 |
| 関東地域の水溶性天然ガスに関する地質・地化学的研究 | 23 二、三の岩石におけるパーカッションビットの掘削特性 |
| 12 コンクリートの乾燥収縮 -地質学の立場からの考察- | |
| 13 東日本大震災による砕石場の被害 -茨城県を例に- | |

報告会参加費：無料 (懇親会費は 3,000 円)

参加申込先：<http://unit.aist.go.jp/georesenv/s10>

ジオ・スクーリングネット CPD：4 単位 (事前登録必要)

〒305-8567 つくば市東 1-1-1 (第7事業所)

(独)産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門

成果報告会事務局 TEL 029-861-2044

地圏資源環境研究部門の研究内容と目標

- ・環境と調和した地圏開発利用
- ・エネルギー・資源の安定供給

影響予測 リスク評価 環境保全 安全評価

探査 資源量評価 開発 利用



独立行政法人
産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門

<http://unit.aist.go.jp/georesenv/>